



東日本大震災以降、あらためて災害に対する備えと対応の重要性が社会的に認識されたことに加えて、熊本地震の発生や南海トラフ地震に関する発表、昨今の自然災害・異常気象等を受け、ますます関心が高まっている「防災」をテーマに、事業者・市民・行政等地域社会の安全に関する啓発活動として「安全セミナー」を開催しますのでお知らせいたします。

1. 日 時 平成 28 年 9 月 16 日(金) 14:30～16:30 ※開場 14:00
2. 会 場 松下IMPホール(大阪市中央区城見 1-3-7 松下IMPビル)
※JR・京阪 京橋駅より徒歩 5 分
3. 内 容

(1) 主催者挨拶

公益財団法人 JR 西日本あんしん社会財団理事長 佐々木 隆之

(2) 講演

『命を守るためのそれぞれの危機管理 ～その前に、そしてその時、すべきこと～』
防災システム研究所 所長 山村 武彦(やまむら たけひこ)氏

【プロフィール】

新潟地震(1964年)を契機に防災アドバイザーを志す。以来、地震、津波、噴火、水害、竜巻、土砂災害等 250 か所以上の現地調査を行う。災害をなくすことはできないまでも、準備と訓練で被害を少なくすることはできると信じ、災害現場の教訓を伝える努力を続けている。

阪神・淡路大震災(1995年)発生時は2時間後に現地入りし救助活動などを行う。近年も東日本大震災、オクラホマ竜巻災害、フィリピン台風30号災害、広島土砂災害、ネパール地震、熊本地震などの調査を行うとともに、執筆・講演などを通じ防災意識の啓発に取り組んでいる。

【講演概要】

1. 最近の大規模災害に学ぶ

- (1) 2016年熊本地震の特異性(連続大地震と地盤土砂災害)
- (2) 2011年東日本大震災(津波対策と凍りつき症候群)
- (3) 1995年阪神・淡路大震災(キラールパルスと木造家屋)

2. 南海トラフ巨大地震に備える、防災・危機管理

- (1) 震度6強の揺れ!そのとき どうなる どうする
- (2) 命を守るそれぞれの安全ゾーン(持ち出すものは命だけ)
- (3) 年2回の防災大掃除(命捨てるな、モノ捨てる!)

3. スマート防災・命を守る準備と行動

- 災害後対処訓練の前に、災害予防訓練
 - ① 火を消す訓練の前に、火を出さない訓練
 - ② 救出訓練の前に、閉じ込められない訓練
 - ③ 避難訓練の前に、状況別命を守る訓練

4. 自助・近助・共助で「ずっと住みたいまちづくり」

- (1) 遠水は近火を救わず
- (2) 近くの人が近くの人を助ける近助の精神
- (3) 防災隣組先進事例

5. 災害現場のちょっといい話



4. 定 員 700名(参加無料・要事前申込)
5. 主催等 主催:公益財団法人 JR 西日本あんしん社会財団
協力:西日本旅客鉄道株式会社、関西鉄道協会
6. 応募方法

JR 西日本あんしん社会財団ホームページ(<http://www.jrw-relief-f.or.jp/>)より平成 28 年 8 月 12 日(金)までにお申し込みください。応募者多数の場合は、抽選のうえ結果をメールにてお知らせします。参加される方には、8月31日(水)までに参加証をお送りいたします。

安全セミナー



「命を守るための それぞれの危機管理

～その前に、そしてその時、すべきこと～

日時

平成28年9月16日(金)
14:30～16:30(開場14:00)

会場

松下IMPホール

定員

700名(参加無料・要事前申込)

応募方法

ホームページからご応募ください

詳しくは

JR西日本財団

検索

※応募者多数の場合は抽選のうえ、結果をメールにてお知らせいたします。
※参加される方には、8月31日(水)までに参加証をお送りいたします。

応募締切

平成28年8月12日(金)

お問合せ先

JR西日本あんしん社会財団事務局

TEL 06-6375-3202(平日10:00～17:00)



主催:公益財団法人 JR西日本あんしん社会財団 協力:西日本旅客鉄道株式会社・関西鉄道協会